

2. (仮称) 札幌博物館設置に向けての基本的な考え方

現在の社会動向と、平成27年3月に策定した「(仮称) 札幌博物館基本計画」における設置に向けた基本的な考え方を示します。

(1) 社会動向

人口減少、少子高齢化が進行し、都市化によるコミュニティ*の希薄化が懸念される中、博物館は、誰もが足を運びやすい生涯学習の場として、また多様な人々が集まり交流する地域活性化の拠点および観光振興の拠点としての役割も期待され、博物館に求められる役割は大きくなってきています。

①国内および札幌市をめぐる状況

人口減少、少子高齢化

- ・少子高齢化の進展に伴い高齢単身世帯が増加し、孤立しがちな人が増えることや、地域での付き合いや交流の減少などによる社会との関わりの少ない市民の増加が懸念されており、地域コミュニティの活性化や高齢者の活躍の場づくりなどが必要

地球環境の持続可能性や生物多様性*への関心の高まり

- ・東日本大震災などの自然災害を受け、自然と人の関わり、環境、資源エネルギー利用のあり方への関心の高まり
- ・外来種の移入や都市開発に伴う自然環境の変化に伴い、動物の都市部への出没や農作物への被害などが生じており、地球環境の持続可能性や生物多様性に対する社会的関心の高まり

②博物館をめぐる状況

博物館の教育効果、交流促進、文化・観光促進への期待

- ・平成18(2006)年の教育基本法改正により、博物館は市民の多世代交流、街の魅力探求、地域の教育力*の向上などの機能を持つことへの期待が増大
- ・近年における人々の価値観やニーズの多様化を背景に、年齢を問わない、あらゆる世代の学習要望の高まりや、市民の参画や協働による地域づくり、ボランティアに対する関心や活動の質の高まりから、その受け皿としての博物館への着目
- ・教育目的のほか、文化・観光の振興、地域活性化や人々の交流の拠点など、博物館が担う役割の拡大

博物館への期待の高まり

身近な地域の自然と人の関わりを
知り、探求する場として

地域活性化の拠点として

生涯学習の場として

観光振興の拠点として

(2) (仮称) 札幌博物館が今必要な理由と使命

札幌の魅力を伝え、発信することは、札幌への愛着や探求心を生むこととなり、人材の育成につながり、文化・観光の振興や交流人口の増加などにも寄与することと言えます。

札幌市内には、北海道博物館や北海道大学総合博物館があるものの、札幌に焦点を当てた博物館はなく、札幌市民が郷土の自然・歴史・文化についてより深く学び、札幌を訪れた方に、札幌の魅力を十分に伝える場がありません。

札幌の未来への貢献に向け、博物館の使命を下記のとおり設定します。

使命1：札幌市民としての郷土への愛着と誇りを育む

自然と人との関わりについての関心が高まっていますが、札幌の自然と人については、これまでその全容は明らかになっていません。(仮称) 札幌博物館では、札幌の資料を収集・保存、調査・研究し、その成果を展示や講座などを通して市民に伝え、広げることによって、札幌の自然・歴史・文化の独自性を明らかにし、札幌市民としての愛着と誇りを育てていく役割を担います。

2. (仮称) 札幌博物館設置に向けての基本的な考え方

使命2：創造性あふれる人材の育成

(仮称) 札幌博物館が生涯を通じた学習の場となるよう、市民による自主的な博物館活動を支援し、札幌の魅力を高めていけるような創造性あふれる人材を育成します。

使命3：自然と人の観点からまちづくりに貢献

あらゆる世代の市民が集い、交流する場として、活力ある地域づくりに寄与していく活動拠点となっていきます。また、博物館活動を通じて得た、自然と人との関わりに関する知見を市民みんなで共有し、環境保全などまちづくりの分野に活かすほか、多くの方に札幌の魅力を発信することでにぎわいを創出し、観光資源としての役割も果たしていきます。

(3) (仮称) 札幌博物館の基本テーマ・領域・特徴

(仮称) 札幌博物館は、平成8(1996)年度に札幌市博物館基本構想委員会が示した基本テーマ「北・その自然と人」を引き継ぎ、市民とともに自然・歴史・文化の独自性を自然史の視点から探求し、札幌の魅力を発信し伝える、未来に向けて進化・発展し続ける博物館を展開します。

この基本テーマは、札幌市が“日本列島の北に位置すると同時に、地球規模でみると北と南の接点ともいえる中緯度にあること”、“北と南の要素がどのように出会って交流してきたのか”、札幌の自然と歴史と文化の独自性を生み出した重要な要素であること”を理由に設定されたものです。

基本テーマ「北・その自然と人」のもと、
市民みんなで札幌の「自然と人の関わり」を探求し、
札幌の未来に向けて進化・発展し続ける博物館

領域

石狩低地帯形成の1億3千万年

特徴

自然史の視点から札幌の自然、歴史、文化を明らかにする「自然史系博物館」

(4) (仮称) 札幌博物館の目指す姿

子どもをはじめとした 次世代人材の育成

博物館は、驚きと感動をもって知らないことを発見でき、その楽しさが、達成感や自己実現をもたらし、人材を育てます。

札幌市の独自性や魅力を 伝え、地域資産を継承

札幌独自の自然、歴史、文化的資産や魅力を体系的に収集・保存し、その調査・研究を行い、市民の共有財産として未来に継承します。

地域コミュニティ創造、 文化・観光の振興への寄与

札幌の理解を深めることで札幌がますます好きになり、博物館に集まる人々の活動やコミュニケーションが生まれ、交流人口を拡大し、地域を共に創り上げていく力を生みます。

より効果的に学び体験ができる (仮称) 札幌博物館

- 地域に目を向け、関心を持つことで、札幌への愛着を深めます。
- 博物館での学びは、札幌を知りその良さを深めたいという欲求につながり、地域環境の持続可能性や生物多様性の保全とその恵みを持続可能な形で利用するなど、地域づくりに結びつきます。